

CM0264

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CM0264 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2011 年 6 月 16 日

ファームウェア Ver. 1.0.095 版

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプター、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は1年間です。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	4
RoHS.....	4
SJ/T 11364-2006	5
安全にお使い頂くために.....	6
全般	6
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要.....	11
特長.....	12
システム要件.....	13
コンソール.....	13
コンピューター	13
ハードウェア	13
ケーブル	13
コンバーター	14
OS.....	14
製品各部名称	15
フロントパネル	15
リアパネル.....	17
第2章 ハードウェアセットアップ	18
ケーブルの接続.....	18
接続図	20
第3章 基本操作.....	21
概要.....	21

デフォルト表示と電源投入シーケンス.....	21
PC 以外のデバイス.....	21
LED 表示.....	22
手動切替.....	23
シングルディスプレイコンソール.....	23
デュアルディスプレイコンソール.....	25
KVM 以外のビデオ出力の切替.....	26
ホットプラグ.....	26
電源 OFF と再起動.....	27
KVM リセット.....	27
ポート ID の割り当て.....	27
第 4 章 キーボードによるポート操作.....	28
ポート切替.....	28
シングルディスプレイコンソール.....	29
デュアルディスプレイコンソール.....	31
オートスキャン.....	35
ホットキーセッティングモード.....	36
ホットキーセッティングモードの起動.....	36
ホットキーセッティングモードの代替起動キー.....	37
ポート切替の代替キー.....	37
キーボード操作プラットフォーム.....	38
リスト切替設定.....	39
USB リセット.....	39
キーボード言語.....	39
ホットキーによるビープ音調整.....	40
ポート切替キー.....	40
ファームウェアアップグレードモード.....	40
デフォルト設定のリストア.....	41
ビデオダイナシンク.....	41
キーボードエミュレーション制御.....	41
マウスエミュレーション制御.....	42
カーソルシフトによるポート切替.....	42
その他の OS モード.....	42
ホットキーセッティングモード一覧.....	43
工場出荷時におけるホットキー設定.....	44
第 5 章 GUI 操作.....	45

概要.....	45
GUIの有効化.....	45
ツールバー.....	47
ファイル管理ユーティリティー.....	48
ファイル転送 GUI.....	48
ファイル転送.....	51
その他のファイル管理機能.....	51
3in1 ビュー デスクトップコントロールとモニタリング.....	52
マトリックスウィンドウ.....	52
マトリックスウィンドウ表示シーケンス.....	53
基本機能.....	54
ナビゲーション.....	54
高度な機能.....	55
マトリックスウィンドウを使ったポート切替.....	55
カーソルシフト.....	56
CnPを使ったRTF転送.....	56
デスクトップのリサイズ.....	57
実行前.....	57
実行後.....	57
第6章 ファームウェアアップグレード ユーティリティー.....	58
事前準備.....	58
アップグレードの開始.....	59
アップグレード成功.....	62
アップグレード失敗.....	62
付録.....	63
製品仕様.....	63
トラブルシューティング.....	65
Mac キーボードエミュレーション.....	68
工場出荷時におけるデフォルトホットキーと設定.....	69

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。

- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CM0264 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CM0264 2×4 DVI-HDMI マトリックス KVM スイッチ ×1
- ◆ HDMI KVM ケーブル ×2
- ◆ DVI KVM ケーブル ×2
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ USB-PS/2 コンバーター×1
- ◆ フットパッドセット(4pcs) ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CM0264 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

本マニュアルは下記の章から構成されています。

第1章 はじめに: CM0264 を紹介します。特長、機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ: 製品のセットアップ方法について説明します。必要な手順は接続図に示しています。

第3章 基本操作: CM0264 の機能概要および操作方法について説明します。

第4章 キーボードによるポート操作: CM0264 のホットキー操作に関する機能概要、および操作手順について説明します。

第5章 ホットキー操作: CM0264 のグラフィカルユーザーインターフェース(GUI)の詳細、および操作方法について説明します。

第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: お使いの CM0264 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

CM0264 は、2 ポート HDMI KVM スイッチ及び 2 ポート DVI KVM スイッチの機能と、2 ポート USB2.0 ハブを備え、デュアルディスプレイコンソールと GUI に対応した、DVI-HDMI マトリックス KVMP スイッチです。

CM0264 のデュアルディスプレイコンソールは、DVI ディスプレイと HDMI ディスプレイを各 1 台接続し、USB キーボード、USB マウス、そして 1~2 台のディスプレイから構成されるシングルコンソールから、ユーザーが 4 台のコンピューター/デバイスを操作できます。USB ハブ機能も備えており、ここに接続されたデバイスをコンピューター間で共有し、切り替えてアクセスすることも可能です。

CM0264 はマトリックススイッチとしては、ホットキー、プッシュボタン、マウスおよび GUI を使って 2 台の DVI ソースと 2 台の HDMI ソースを簡単に切り替えることができます。更に、コンソールディスプレイが 2 台使用できる特性を生かし、CM0264 は最大 4 台のコンピューターの画面を同時に表示できる 3-in-1 ピクチャ・イン・ピクチャ機能を搭載しています。更に刷新的なデスクトップコントロール機能には、デュアルディスプレイモードでポート切替を行うカーソルシフト機能や、オンスクリーンファイル転送・コピー & ペースト機能が含まれています。

デジタルオーディオの重要性が高まる中、CM0264 の 2 箇所の HDMI インターフェースは、ユーザーが Dolby True HD や DTS HD Master Audio 等の High Definition Audio を体験できるマルチチャンネルオーディオ対応を取り入れています。更に、1 台のマイクで音声入力を各コンピューターに提供できると同時に、1 組のスピーカーで各コンピューターの音声を切り替えて出力することもできます。オーディオも USB デバイスと同様に、KVM 操作とは独立して切り替えることができます。

独自の設計と革新的な機能を搭載した CM0264 は、SOHO 環境にスタイルと機能の両方を提供します。HDMI 対応の PC と DVI 対応の PC 各 2 台をシームレスに切り替え、デュアルディスプレイコンソールから USB デバイスと High Definition Audio を共有できるため、CM0264 はマルチメディアアプリケーションに最適な製品であり、省スペースで合理的な KVM テクノロジーにおいて最高のデスクトップ環境を提供します。

特長

- ◆ 4ポート 2×4 DVI-HDMI マトリックス KVMP スイッチ
- ◆ 4台の PC やデバイス(DVI 2台、HDMI 2台)を切り替えて、ディスプレイ 2台(DVI 1台、HDMI 1台)で表示。USB デバイスの切替も可能
- ◆ デュアルディスプレイコンソール - DVI ディスプレイと HDMI ディスプレイを各 1台接続可
- ◆ 便利でユーザーフレンドリーな操作を実現するグラフィカルユーザーインターフェース(GUI)
- ◆ ファイルシステム管理ユーティリティ - PC 間でファイルを転送
- ◆ 2ポート USB ハブ内蔵。USB2.0 仕様準拠
- ◆ KVM、USB デバイス、オーディオは個別に切替可能
- ◆ コンピューター切替方法 - フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー、マウス、GUI
- ◆ HDMI1.3b 準拠。HDCP 準拠
- ◆ ドルビー True HD および DTS HD Master Audio 対応
- ◆ 解像度 - 最大 1,920×1,200 (DVI シングルリンク) 、1080p (HDMI)
- ◆ ワイド画面解像度対応
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows 2000/XP/Vista/7、Linux、Mac
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション、多機能マウス対応
- ◆ カーソルシフト切替機能 - デュアルディスプレイモード時にはカーソル移動だけでディスプレイ上の PC やデバイスに操作を切替
- ◆ ビデオダイナシンク(ディスプレイエミュレーション) - コンソールディスプレイの EDID を保存し、解像度を最適化
- ◆ 電源状態検知機能 - コンピューターの電源が OFF になると、電源が入っているコンピューターに自動切替
- ◆ コンソールキーボードポートエミュレーション、多機能キーボード対応
- ◆ キーボードエミュレーション機能 - 選択されていないポートのコンピューターもエラーなく起動
- ◆ Mac キーボードエミュレーション対応*
- ◆ オートスキャンモード - 製品に接続されたコンピューターや HDMI デバイスを自動的に切替表示
- ◆ ファームウェアアップグレード可能

-
- | | |
|---|---|
| * | <ol style="list-style-type: none">1. PC/AT キーボードでもキーの組み合わせで Mac キーボードの特殊キー入力が可能。2. Mac 用キーボードも使用可能です。(Windows マシンでは特殊キーが効きません) |
|---|---|
-

システム要件

コンソール

- ◆ 接続して使用するコンピューター/機器の解像度に適した HDMI ディスプレイ
- ◆ 接続して使用するコンピューター/機器の解像度に適した DVI シングルリンクディスプレイ
- ◆ USB マウス
- ◆ USB キーボード

注意:	製品に同梱されたコンバーターを使用した場合は、PS/2 タイプのキーボード・マウスがご利用いただけます。
------------	--

- ◆ マイクおよびスピーカー(オプション)

コンピューター

製品に接続して使用するコンピューターには下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ HDMI ポートまたは DVI ポート

注意:	表示画質はディスプレイカードの品質に左右されますので、高品質のディスプレイカードの使用を推奨します。
------------	--

- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ オーディオポート(オプション)

ハードウェア

- ◆ 2.0Ghz プロセッサ
- ◆ 1GB RAM

ケーブル

本製品パッケージには、DVI-D シングルリンク KVM ケーブルと HDMI KVM ケーブルが各 2 本同梱されています。

コンバーター

本製品には下記のコンバーターがオプションで利用できます。

コンバーター	型番
HDMI(メス) - DVI(オス)コンバーター	2A-127G
HDMI(オス) - DVI(メス)コンバーター	2A-128G

OS

対応 OS は下表のとおりです。

CM0264

OS	バージョン	
Windows	2000 以降	
Linux	Red Hat	6.0 以降
	SuSE	8.2 以降
UNIX	FreeBSD	3.51 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac	OS 9 以降	

CM0264 グラフィカルユーザーインターフェース (GUI)

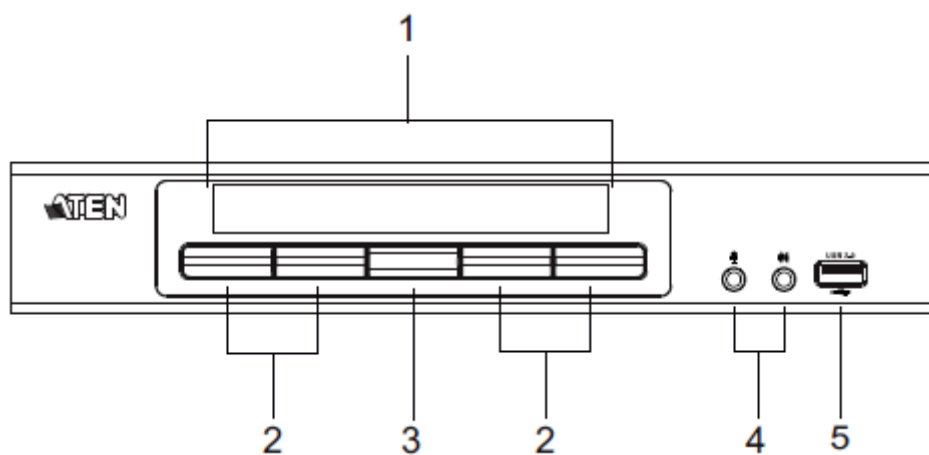
OS	バージョン
Windows	XP、2003、2008、Vista x86/x64、Windows 7 x86/x64

グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) 言語

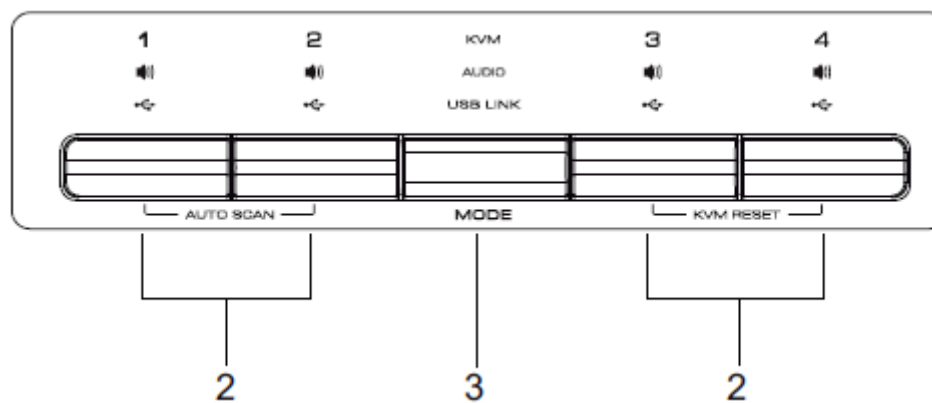
CM0264 の GUI は英語表記です。

製品各部名称

フロントパネル

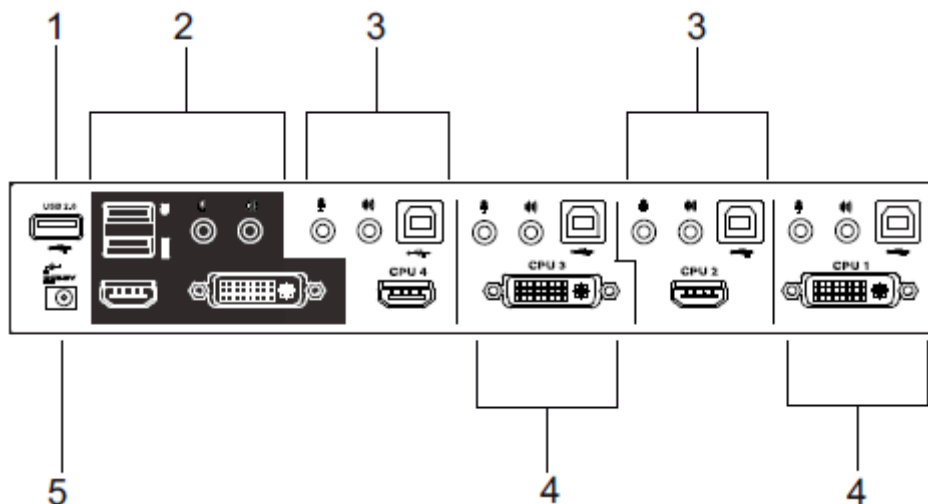


LED ステータスパネル詳細



No.	名称	説明
1	LED ステータスパネル	このパネルにある LED アイコンは、点灯状態でモードとポートステータスを表します。モード及びポート選択ボタンには、それぞれオーディオ、KVM1/V2、および USB ステータスを表す 3 つの LED アイコンがあります。詳細については p.22「LED 表示」をご参照ください。
2	ポート選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 手動でポートを切り替える場合は、ポート選択ボタンを押してください。詳細については、p.23「手動切替」をご参照ください。 ◆ ポート選択ボタン 1 及び 2 を同時に 2 秒以上長押しすると、オートスキャンモードを開始します。詳細については p.30「ポートのダイレクト切替」をご参照ください。 ◆ ポート選択ボタン 3 及び 4 を同時に 2 秒以上長押しすると、KVM をリセットします。詳細については p.27「KVM リセット」をご参照ください。
3	モード選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ◆ KVM1/V2、オーディオ、USB の 3 つのモードを順番に切り替えます。 ◆ モード選択ボタンを押したまま CM0264 に電源を入れると、ファームウェアアップグレードモードを開始します。詳細については p.59「アップグレードの開始」をご参照ください。
4	コンソールオーディオポート	お使いのスピーカーとマイクを接続します。
5	USB2.0 デバイスポート	USB2.0 デバイス(プリンター、スキャナー等)は、このポートに接続します。

リアパネル



No.	名称	説明
1	USB2.0 デバイスポート	USB2.0 デバイス(プリンター、スキャナー等)は、このポートに接続します。
2	コンソールポートセクション	お使いの USB キーボード、USB マウス、DVI コンソールディスプレイ、HDMI コンソールディスプレイ、マイク及びスピーカーはこの部分に接続します。
3	HDMI KVM ポートセクション	CM0264 とお使いの HDMI コンピューター/デバイスをつなぐケーブルは、ここに接続します。HDMI KVM ポートは、マイクジャック、スピーカージャック、USB タイプ B ポート、HDMI ポートから構成されています。
4	DVI KVM ポートセクション	CM0264 とお使いの DVI シングルリンクコンピューターをつなぐケーブルは、ここに接続します。DVI KVM ポートは、マイクジャック、スピーカージャック、USB タイプ B ポート、DVI-I シングルリンクポートから構成されています。
5	電源ジャック	電源アダプターはこのジャックに接続します。

第2章

ハードウェアセットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源が OFF になっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピューターの電源ケーブルも抜いてください。

ケーブルの接続

CM0264 をセットアップする際には、p.20 の接続図(図内における番号は手順に対応)を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. 製品リアパネルにある USB コンソールポートに、お使いの USB キーボードと USB マウスを接続してください。
2. 製品リアパネルにあるコンソール DVI-I シングルリンクポートに、お使いの DVI ディスプレイを接続してください。
3. 製品リアパネルにあるコンソール HDMI ポートに、お使いの HDMI ディスプレイを接続してください。
4. IP 電話のヘッドセットや、マイク・スピーカーをお使いになる場合は、これらのコネクタを製品フロントパネルにあるアナログオーディオポートに接続してください。これらのオーディオポートは、リアパネルにあるオーディオポートよりも優先的に使用されます。
5. マイク・スピーカーを使用する場合は、これらのコネクタを製品リアパネルにあるコンソールアナログオーディオポートに接続してください。
6. DVI KVM ケーブルの DVI-D シングルリンク、USB、オーディオの各コネクタを、製品リアパネルの対応ポートにそれぞれ接続してください。

7. 手順6で使用したケーブルの反対側にあるDVI、USBの各コネクタを、DVIソースデバイスとなるコンピューターの対応ポートにそれぞれ接続してください。
8. HDMI KVMケーブルのHDMI、USB(必要であれば)の各コネクタを、製品リアパネルの対応ポートにそれぞれ接続してください。

注意:	HDMI コンソールディスプレイにスピーカーが内蔵されており、HDMI インターフェースを介してオーディオに対応している場合は、HDMI KVMケーブルのスピーカーコネクタを使用する必要はありません。
------------	--

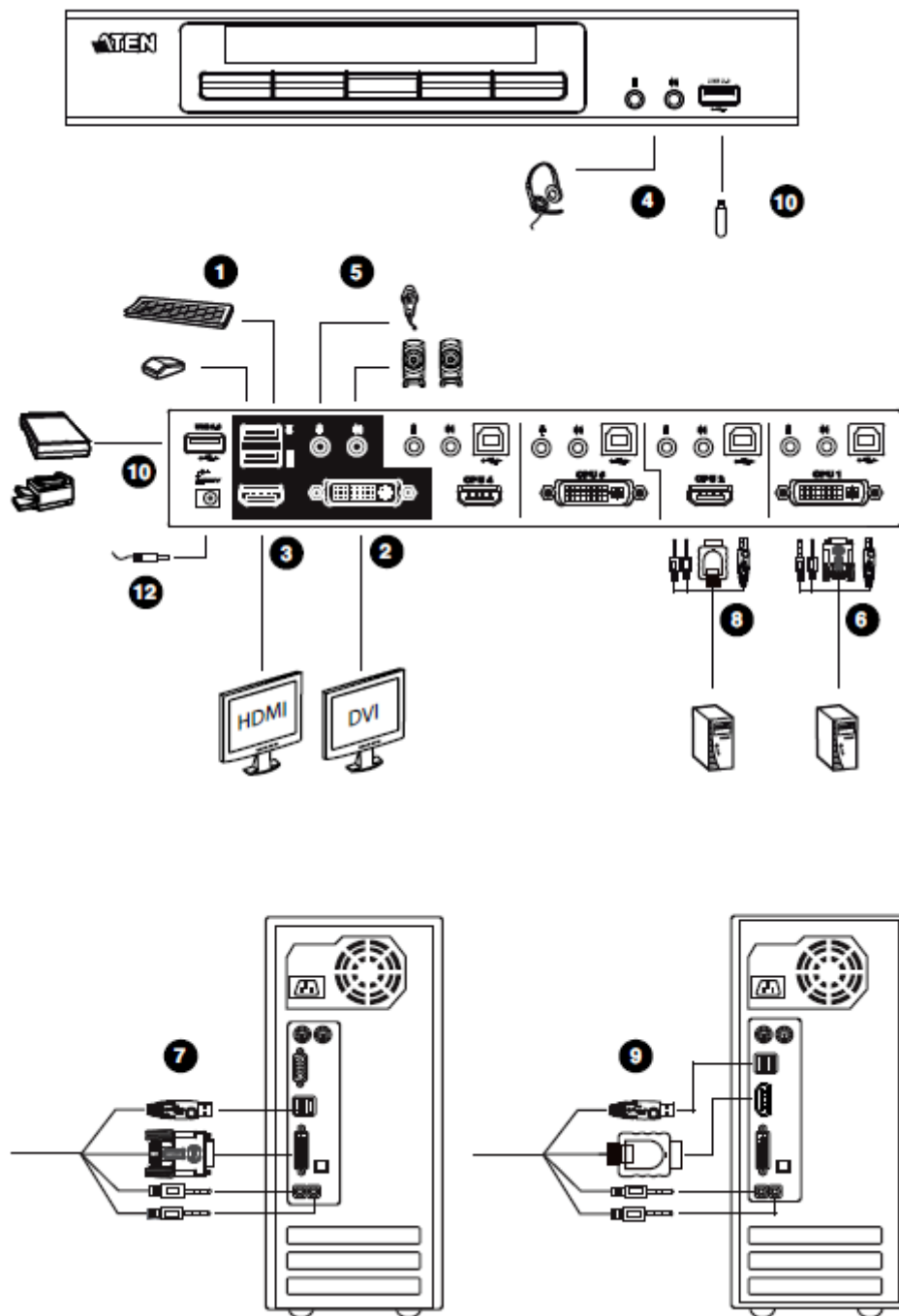
9. 手順8で使用したケーブルの反対側にあるHDMI、USBの各コネクタを、HDMIソースデバイスとなるコンピューター/機器の対応ポートにそれぞれ接続してください。

注意:	HDMIのソースデバイスがDVDプレーヤー等のPC以外のデバイスである場合は、対応HDMIケーブルの代わりにオス - オスのHDMIケーブルを使用することができます。
------------	---

10. お使いのUSBデバイスをUSBタイプAポートに接続してください(フロント側にはポータブルデバイスにアクセスしやすいように1ポート搭載。もう1ポートはリアパネルに搭載)。
11. ディスプレイに電源を入れてください。
12. CM0264製品パッケージに同梱されている電源アダプターをAC電源に接続し、この電源アダプターのケーブル部分を製品の電源ジャックに接続してください。
13. コンピューター/デバイスに電源を入れてください。

注意:	電源を入れる際には、ポート1→ポート2→ポート3→ポート4の順に電源を入れるようにしてください。詳細については、p.21「デフォルト表示と電源投入シーケンス」をご参照ください。
------------	--

接続図



第3章 基本操作

概要

コンピューターにアクセスするには、手動、ホットキー、カーソルシフト、グラフィカルユーザーインターフェース(GUI)のマトリックスウィンドウの 4 種類の方法があります。手動で切り替える場合は、製品フロントパネルにあるモード/ポート選択ボタンを押します。これについては、本章で説明します。キーボードからショートカットキーを入力するホットキー操作については、第 4 章で説明します。また、カーソルシフトや GUI メニューでのマトリックスウィンドウによるポート切替操作については、第 5 章で説明します。

デフォルト表示と電源投入シーケンス

CM0264 のデフォルト表示は DVI ディスプレイです。DVI ディスプレイには、最初に電源が入ったコンピューターの画面が表示され、デフォルトでこのコンピューターの KVM 操作が選択された状態になります。これは、例えば、ポート 2 に接続されている HDMI コンピューター/デバイスに最初に電源が入った場合は、このポートの KVM 操作が選択されますが、このコンピューター/デバイスの画面は DVI ディスプレイ*に出力されます。したがって、お使いのコンピューター/デバイスには、ポート 1 から順番に電源を入れることを推奨します。

*	HDMI コンピューター/デバイスのビデオ出力は DVI ディスプレイに表示されますが、HDMI オーディオはサポートされません。
---	---

PC 以外のデバイス

DVD プレーヤーのような PC 以外のデバイスは、CM0264 のフロントパネルにあるプッシュボタン(p.23「手動切替」参照)、またはキーボードホットキー(p.28「ポート切替」参照)によってのみアクセスすることができます。更に、PC 以外のデバイスで KVM 全体の操作が切り替わらない(ビデオのみが切り替わる等)場合は、p.26「KVM 以外のビデオ出力の切替」で詳細をご参照ください。

LED 表示

CM0264 のフロントパネルにあるモード及びポート選択ボタンにはそれぞれ、**オーディオ**、**KVM1/V2**、**USB** を表す LED アイコンが内蔵されています。これらは、下表に示すステータスに応じて、グリーンまたはオレンジに点灯します。

注意:	LED を正しく表示するために、下記の推奨電源投入シーケンスに従ってください。詳細については、p.21「デフォルト表示と電源投入シーケンス」をご参照ください。
------------	---

LED		表示
モード	KVM	<ul style="list-style-type: none"> ◆ KVM1 が選択されている時には、オレンジ色に点灯します。 ◆ V2 が選択されている時には、緑色に点灯します。
	オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ オーディオが選択されている時には、緑色に点灯します。
	USB	<ul style="list-style-type: none"> ◆ USB が選択されている時には、緑色に点灯します。
ポート	KVM	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ポートが選択されていない時には、消灯します。 ◆ 該当ポートに接続されたコンピューターで KVM1 が選択され、HDMI ディスプレイに表示されている場合には、オレンジ色に点灯します。 ◆ 該当ポートに接続されたコンピューターで V2 が選択され、HDMI ディスプレイに表示されている時には、緑色に点灯します。 ◆ 該当ポートに接続されたコンピューターがオートスキャンモードでアクセスされている時には、点滅します。 ◆ ファームウェアアップグレードモードが起動すると、すべてオレンジ色に点滅します。
	オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 該当ポートに接続されたコンピューターでオーディオが選択されている時には、緑色に点灯します。
	USB	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 該当ポートに接続されたコンピューターで USB が選択されている時には、緑色に点灯します。

注意:	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポート選択 KVM アイコンは、ポート番号(1、2、3、4)のものです。 2. KVM1 は、現在のコンソールディスプレイで選択されている KVM 操作を、また、V2 はもう片方のコンソールディスプレイで表示されているビデオのみの出力をそれぞれ表します。
------------	---

手動切替

モード選択ボタンと各ポートに対応したボタンには、**KVM、オーディオ、USB** の 3 つのアイコンがついています。モードボタンが押されると、このボタンのアイコンは点灯し、対応する KVM、オーディオ、USB の各モードを順番に切り替えます。

ポート選択ボタンのアイコンは点灯して、そのポートに対応したコンピューターの現在のステータスを表します。例えば、オーディオアイコンがポート 3 の選択ボタンの上で点灯している場合、これはポート 3 に接続されたコンピューターで現在オーディオが選択されていることを表します。

CM0264 は、DVI シングルリンクコンソールディスプレイまたは DVI シングルリンクディスプレイ 1 台、及び HDMI コンソールディスプレイ 1 台を使って操作することができます。手動切替は、各手順によって若干異なります。例えば、1 台のディスプレイコンソールを使用している場合、選択されるコンピューターは 1 台ですが、デュアルディスプレイコンソールを使用している場合、KVM1 で 1 台選択されるのに加えて、V2 としてもう 1 台選択されます。詳細については次のセクションをご参照ください。

シングルディスプレイコンソール

- ◆ **オーディオ、KVM、USB** のすべてを特定のコンピューターで選択する場合は、下記のいずれかの方法で操作してください。
 - a) 目的のコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。
 - b) モードボタンを **1 回**押し(この時、モードボタンの 3 つのアイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。3 つのポートアイコンがすべて点灯します。
- ◆ **KVM** 操作だけを特定のコンピューターで選択する場合は、モードボタンを **2 回**押し(モードボタンの KVM アイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。このポートの KVM アイコン(ポートナンバー)が点灯します。
- ◆ **オーディオ**だけを特定のコンピューターで選択する場合は、モードボタンを **3 回**押し(モードボタンのオーディオアイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。このポートのオーディオアイコンが点灯します。
- ◆ **USB**だけを特定のコンピューターで選択する場合は、モードボタンを **4 回**押し(モードボタンの USB アイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。このポートの USB アイコンが点灯します。

- ◆ オートスキャンモードを開始する場合は、ポート選択ボタンの 1 と 2 を同時に **2 秒間**長押ししてください。詳細については、p.30「ポートのダイレクト切替」をご参照ください。

注意:	オートスキャンを停止する場合は、どちらかのポート選択ボタンを押してください。KVM 操作は、このとき押されたボタンに対応したポートに接続しているコンピューターに切り替わります。
------------	--

- ◆ KVM リセットを実行する場合は、ポート選択ボタンの 3 と 4 を同時に **2 秒間**長押ししてください。詳細については、p.27「KVM リセット」をご参照ください。

デュアルディスプレイコンソール

デュアルディスプレイコンソールモードの場合、CM0264 では DVI と HDMI のどちらのディスプレイもお使いいただくことが可能です。このとき、片方のディスプレイでは KVM 操作が、もう片方のディスプレイではビデオ出力のみがそれぞれ可能です。後のセクションにおいて、「KVM1」は現在のコンソールディスプレイでの KVM 操作を、「V2」はもう一台のモニターにおけるビデオのみの出力をそれぞれ表します。

注意:	KVM1 の LED ランプはオレンジ色に、V2 の LED ランプは緑色にそれぞれ点灯します。
------------	--

- ◆ オーディオ、KVM、USB のすべてを特定のコンピューターで選択する場合は、下記のいずれかの方法で操作してください。
 - a) 目的のコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。
 - b) モードボタンを **1 回**押し(この時、モードボタンの 3 つのアイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。3 つのポートアイコンがすべて点灯します。
- ◆ KVM1 の操作だけを特定のコンピューターで選択する場合は、モードボタンを **2 回**押し(モードボタンの KVM アイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。このポートの KVM アイコン(ポートナンバー)が点灯します。
- ◆ V2 の操作だけを特定のコンピューターで選択する場合は、モードボタンを **3 回**押し(モードボタンの KVM アイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。このポートの KVM アイコン(ポートナンバー)が点灯します。
- ◆ オーディオだけを特定のコンピューターで選択する場合は、モードボタンを **4 回**押し(モードボタンのオーディオアイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。このポートのオーディオアイコンが点灯します。
- ◆ USB だけを特定のコンピューターで選択する場合は、モードボタンを **5 回**押し(モードボタンの USB アイコンが点灯)、このコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。このポートの USB アイコンが点灯します。
- ◆ オートスキャンモードを開始する場合は、ポート選択ボタンの 1 と 2 を同時に **2 秒間**長押ししてください。詳細については、p.30「ポートのダイレクト切替」をご参照ください。

注意:	オートスキャンを停止する場合は、どちらかのポート選択ボタンを押してください。KVM 操作は、このとき押されたボタンに対応したポートに接続されたコンピューターに切り替わります。
------------	---

- ◆ KVMリセットを実行する場合は、ポート選択ボタンの3と4を同時に**2秒間**長押ししてください。詳細については、p.27「KVMリセット」をご参照ください。

KVM 以外のビデオ出力の切替

デュアルディスプレイコンソールモード(DVI モニターと HDMI モニターを各 1 台使用)の場合、どちらのモニターでも KVM1 操作を選択することができます。他のモニター(V2)でビデオソースのみを切り替える場合は、ホットキーまたはフロントパネルのプッシュボタンを使ってください。

V2 の操作は GUI とは独立して切り替えることができますので、DVD プレーヤーのような PC 以外のデバイスのビデオ出力を切り替える場合は、この方法を使ってください。

現在の KVM 操作が片方のモニターにある時に、もう片方のモニターのビデオを切り替える場合は、下記の通りに操作してください。

- ◆ ホットキー[**Scroll Lock**] [**Scroll Lock**] [**V**] [**Enter**]を使ってください。
または
- ◆ モードボタンを 3 回押し(モードボタンの KVM アイコンが点灯)、切替の対象となるソースに対応したポート選択ボタンを押してください。

詳細については、p.23「手動切替」またはキーボードホットキー(p.28「ポート切替」参照)をご参照ください。

ホットプラグ

CM0264 は USB のホットプラグに対応しています。このホットプラグは、USB ハブポートからのケーブルの抜き差しによって、ユニットの電源を OFF にすることなくデバイスの取り付け・取り外しができる機能のことです。

電源 OFF と再起動

製品の電源を OFF にする必要がある場合は、製品に電源を入れる前に下記の手順で作業を行ってください。

1. 製品に接続されているすべてのコンピューターをシャットダウンしてください。
2. 製品の電源アダプターを電源から外してください。
3. 10 秒程度待機した後、製品の電源アダプターを電源に接続し直してください。
4. 製品に電源が入ったことを確認したら、コンピューターに電源を入れ直してください。

KVM リセット

製品に接続されたコンピューターの操作中にキーボードまたはマウスが機能しなくなった場合は、キーボードとマウスのリセットを行うことができます。この機能を使うと、そのコンピューターで実際にキーボードとマウスを抜き差しした時と同じ効果が得られます。キーボードとマウスのリセットを行う場合は、ポート選択ボタンの 3 及び 4 を同時に 2 秒間押してください。

ポート ID の割り当て

CM0264 の KVM ポートには、それぞれポートナンバー(1、2、3、4)が割り当てられます。ポートナンバーは製品リアパネルに記載されています(p.17「リアパネル」参照)。

コンピューターのポート ID は、そのコンピューターが接続されている KVM ポートに基づいて付番されます。例えば、KVM ポート 2 に接続されているコンピューターのポート ID は 2 です。

このポート ID は、ホットキーでポート選択する際に、どのコンピューターが KVM 操作、USB デバイス、オーディオを選択するかを指定する際に使用されます(詳細については p.30「ポートのダイレクト切替」参照)。

第4章

キーボードによるポート操作

CM0264 は、キーボードから KVM スイッチの操作や設定をするのに便利な、拡張性と操作性に優れたホットキー機能を提供しています。ホットキーを使うことで、KVM、USB ハブ、オーディオを個別に切り替えることが可能です。例えば、KVM 操作と USB ハブとオーディオをそれぞれ別のコンピューターで選択するといった使い方も可能です。

ポート切替

すべてのポート切替操作は、必ず[Scroll Lock]キーを2回押して始めます。p.29の表は、シングルコンソールディスプレイとデュアルコンソールディスプレイの両方の設定において、各ホットキーが実行するアクションの内容を表します。CM0264 は1~2箇所のコソールディスプレイから操作することができます。ポート切替はセットアップ方法によって若干異なります。詳細については、次のセクションをご参照ください。

注意:	[Scroll Lock]キーの使用がそのコンピューターで実行されている別のプログラムの動作と競合する場合は、[Ctrl]キーを代わりに使うことができます。詳細については、p.37「ホットキーセッティングモードの代替起動キー」をご参照ください。
------------	--

シングルディスプレイコンソール

ポートのサイクル切替

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に次のポートに切り替えます。1→2→3→4→1→2→……の順に切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVMコントロールのみを次のポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブのみを次のポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。

ポートのダイレクト切替

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポートに切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM コントロールのみを指定したポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切り替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM コントロールおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM コントロールは現在のポートのままです。

注意:	n はコンピューターのポート ID の番号(1~4)を表します。詳細は、p.27「KVM リセット」をご参照ください。ホットキーを入力する際には、n の部分を適当なポート ID に適宜置き換えて実行してください。
------------	--

デュアルディスプレイコンソール

デュアルディスプレイコンソールで使用する場合は、推奨された電源投入シーケンスに従ってください。詳細については、p.21「デフォルト表示と電源投入シーケンス」をご参照ください。

後のセクションでは、「KVM1」は現在のコンソールディスプレイでの KVM 操作を、「V2」はもう一台のモニターにおけるビデオのみの出力をそれぞれ表します。現在のディスプレイは現在 KVM 操作が選択されているディスプレイを、もう一台のディスプレイは KVM 操作が選択されていないディスプレイをそれぞれ表します。

ポートのサイクル切替

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	<p>KVM1、USB ハブ、オーディオを次のポートに同時に切り替えます。1→2→3→4→1→2→……の順に切り替えます。</p> <p>このホットキーを使用した際に V2 が隣のポートを選択している場合、V2 はもともと KVM1 が選択されていたポートに切り替えます。V2 が隣のポート以外にある場合は、切替操作を行いません。</p> <p>注意:現在のディスプレイで全コンピューター/デバイス間を循環切替する場合は、このホットキーを使ってください。</p>
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	<p>KVM1 の操作のみを次のポートに切り替えます。V2、USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p> <p>注意:現在のディスプレイで KVM 操作を次のコンピューター/デバイスに切り替える場合は、このホットキーを使ってください。</p>

(表は次のページに続きます)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [V] [Enter]	V2 のみを次のポートに切り替えます。KVM1、USB ハブ およびオーディオ選択は現在のポートのままです。 注意: 現在のディスプレイでビデオ出力を次のコンピューター/デバイスに切り替える場合は、このホットキーを使 ってください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブのみを次のポートに切り替えます。KVM1、V2 およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみを次のポートに切り替えます。KVM1、V2 および USB ハブ選択は現在のポートのままです。

ポートのダイレクト切替

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM1、USB ハブ、オーディオを指定したポートに同時に 切り替えます。 このホットキーを使用した際に V2 が隣のポートを選択して いる場合、V2 はもともと KVM1 が選択されていたポートに 切り替えます。V2 が隣のポート以外にある場合は、切替 操作を行いません。 注意: 現在のディスプレイで全コンピューター/デバイス間 を循環切替する場合は、このホットキーを使ってください。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [V] [S] [U] [Enter]	V2、USB ハブ、オーディオを指定したポートに同時に切り 替えます。KVM1 操作の選択は現在のポートのままです。 注意: 他のディスプレイですべてを特定のコンピューター/ デバイスに切り替える場合は、このホットキーを使ってくだ さい。

(表は次のページに続きます)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	<p>KVM1 コントロールのみを指定したポートに切り替えます。V2、USB ハブ、オーディオ選択は現在のポートのままです。</p> <p>注意:現在のディスプレイでKVMを特定のコンピューター/デバイスに切り替える場合はこのホットキーを使ってください。</p>
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [V] [Enter]	<p>V2 操作のみを指定したポートに切り替えます。KVM1、USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p> <p>注意:他のディスプレイでビデオ出力を特定のコンピューター/デバイスに切り替える場合は、このホットキーを使ってください。</p>
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	<p>USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM1、V2 およびオーディオ選択は現在のポートのままです。</p>
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	<p>オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM1、V2 および USB ハブ選択は現在のポートのままです。</p>
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	<p>KVM1 コントロールおよび USB ハブを指定したポートに切り替えます。V2 及びオーディオ選択は現在のポートのままです。</p> <p>注意:現在のディスプレイでKVM 及び USB を特定のコンピューター/デバイスに切り替える場合は、このホットキーを使ってください。</p>
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [V] [U] [Enter]	<p>V2 および USB ハブを指定したポートに切り替えます。KVM1 及びオーディオは現在のポートのままです。</p> <p>注意:他のディスプレイでビデオ出力と USB を特定のコンピューター/デバイスに切り替える場合はこのホットキーを使ってください。</p>

(表は次のページに続きます)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM1 およびオーディオを指定したポートに切り替えます。V2 及び USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM1 及び V2 は現在のポートのままです。

注意:	n はコンピューターのポート ID の番号(1~4)を表します。詳細は、p.27「KVM リセット」をご参照ください。ホットキーを入力する際には、n の部分を適当なポート ID に適宜置き換えて実行してください。
------------	--

オートスキャン

CM0264 のオートスキャン機能は、一定の時間間隔で KVM 操作をコンピューターポート間で自動的に切り替えるのが特長です。これによって、ポートをわざわざ手で切り替えなくても、コンピューターの動作を監視することができます。ビデオ出力はポート単位で切り替えていきますが、キーボード・マウス・USB ハブは切り替わりません。これらは、オートスキャンが開始した際に選択されていたポートにとどまったままとなります。詳細については下表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock][Scroll Lock] [A][Enter]	オートスキャンを起動します。このとき、1 ポートあたりの KVM 操作を 5 秒間隔で切り替えます。これはデフォルトの設定です。
[Scroll Lock][Scroll Lock] [A][n][Enter]	1 ポートあたりの KVM 操作を n 秒間隔で切り替えます。 注意: n は CM0264 が次のポートに切り替える前に 1 ポートにとどまる秒数を表します。ホットキーを入力する際には、n の部分に 1～99 の値を適宜置き換えてください。

ポート切替ホットキーまたはホットキーセッティングモードを使う場合は、マウスカーソルは現在のコンピューター表示位置にある必要があります。

オートスキャンモードの実行中には、通常のキーボード・マウスの機能が無効になり、オートスキャンモードに対応したキー入力とマウスのクリックのみが入力できます。コンソールを再び通常の方法で使用したい場合は、オートスキャンモードを終了してください。

ホットキーセッティングモード

ホットキーセッティングモードは、CM0264 の設定を行う際に使用します。すべての操作はホットキーセッティングモード(HSM)から始めます。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードを起動する際には、下記の手順に従って操作してください。

1. [Num Lock]キーを押したままにしてください。
2. [-]キーを押して、すぐに離してください。
3. [Num Lock]キーを離してください。

注意: ホットキーセッティングモードは代替のキー操作でも起動することができます。詳細については下記をご参照ください。

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると LED は通常の状態に戻ります。

また、ホットキーセッティングモード中は、HSM で有効な操作(後のセクションで説明)以外、通常のキーボード・マウス入力はすべて無効になります。

ホットキー操作によっては、操作の終了時にホットキーモードも自動的に終了しますが、ホットキーモードを手動で終了しなければならないホットキーもあります。手動でホットキーセッティングモードを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

ホットキーセッティングモードの代替起動キー

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力が、コンピューターで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合に備え、ホットキーセッティングモードの代替起動キーが提供されています。

代替起動キーに切り替える場合には、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [H]キーを押してください。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Num Lock]キーが[Ctrl]キーに、[-]キーが[F12]キーにそれぞれ変更されます。

この操作は[Num Lock]+[-]、[Ctrl]+[F12]の組み合わせを交互に切り替えて設定します。デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻す場合は、もう一度上記の操作を行ってください。

ポート切替の代替キー

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キーがコンピューターで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合は、[Ctrl]キーを使ってポート切替を行うこともできます。ポート切替の代替キーを変更する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [T]キーを押してください。

この操作は上記2つの方法を交互に切り替えて設定します。デフォルトの[Scroll Lock]キー2度押しに戻す場合は、もう一度上記の操作を行ってください。

キーボード操作プラットフォーム

CM0264 のデフォルトポート設定は、PC 互換キーボード操作プラットフォームに設定されています。例えば、コンソールに接続しているキーボードが PC 用キーボードで、CM0264 に Mac のコンピューターが接続されている場合、PC 互換キーボードで Mac キーボードをエミュレーションするように、このポートのキーボード操作プラットフォームの設定を変更することができます。手順は下記の通りです。

1. キーボード設定の対象となるポートを選択してください。
2. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
3. プラットフォームに合わせた設定のファンクションキーを入力してください(下表参照)。
ファンクションキー入力後、ホットキーセッティングモードは自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします (p.68 参照)。
[F10]	キーボード OS を自動検出し、パススルーキーボードモードを有効にします。(キー入力の信号は、Mac エミュレーターを介することなくコンピューターに直接送られます。)

注意: キーボード言語を設定する場合は、p.39「キーボード言語」をご参照ください。

リスト切替設定

現在のホットキー設定を表示するには、以下の操作を行ってください。

1. テキストエディター、またはワープロソフトを開き、ペースト機能が使えるようにしておいてください。
2. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
3. [F4]キーを押して、設定内容を表示してください。

注意: この機能は、CM0264 のグラフィカルユーザーインターフェース(GUI)からも実行できます。詳細については、p.47「List Switch Settings」をご参照ください。

USBリセット

USB デバイスがコントロールを失い、リセットする必要がある場合は、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [F5]キーを押してください。

キーボード言語

キーボード言語を 3 つのプリセット値の中から選択して設定する場合は、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [F6][nn][Enter]キーを押してください。

注意: nn には、キーボード言語のコードを表す下記のいずれかの番号を入力します。
英語(アメリカ):33、フランス語:08、日本語:15

ホットキーによるビープ音調整

ビープ音は有効または無効にすることができます。デフォルトでは有効に設定されています。ビープ音を無効にする場合は、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [B]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。無効にする場合は、もう一度上記の操作を行ってください。

ポート切替キー

ポート切替キー([Scroll Lock] [Scroll Lock] / [Ctrl] [Ctrl])は、有効または無効にすることができます。デフォルトでは有効に設定されています。無効にする場合は、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [X] キーを押してから[Enter]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。無効にする場合は、もう一度上記の操作を行ってください。

ファームウェアアップグレードモード

製品のファームウェアアップグレードを行う場合は以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. キーボードで *upgrade* と入力してください。
3. [Enter]キーを押してください。この操作を行うとフロントパネルのオレンジ色の LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

注意: ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、スイッチの電源をオフにしてください。詳細については、p.58「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

デフォルト設定のリストア

CM0264 をリセットしてデフォルトのホットキー設定に戻す場合は、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [R]キーを押してから [Enter]キーを押してください。

この操作により、ホットキーの設定がすべて工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。

ビデオダイナシンク

ビデオダイナシンク機能は、ブート時におけるディスプレイの問題を回避し、ポート切替時に解像度を最適化する、ATEN 独自の技術です。この機能を有効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [D]キーを押してください。

注意:	モニターを取り外して再接続すると、CM0264 はビデオダイナシンク機能を再び実行します。
------------	---

キーボードエミュレーション制御

コンソールキーボードポートエミュレーション/バイパス機能は、大半のゲーミングキーボードおよび多機能キーボードに対応しています。デフォルトでは、有効に設定されています。無効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [N]キーを押してください。

注意:	キーボードエミュレーション機能が OFF の場合、[m]、[w]、[F2]、[F4]、[F5]、[F6]、[F10]の各ホットキーは無効になります。詳細は p.43 をご参照ください。
------------	--

マウスエミュレーション制御

デフォルトでは有効に設定されています。無効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [M]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。有効にする場合は、もう一度上記の操作を行ってください。

カーソルシフトによるポート切替

ディスプレイを2台使用している場合、カーソルシフト機能を使うことで、これらの2台のディスプレイ間で左右にカーソルを動かすことでKVM操作の選択を切り替えることができます(p.56「カーソルシフト」参照)。デフォルトでは、無効に設定されています。有効にする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [W]キーを押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。無効にする場合は、もう一度上記の操作を行ってください。

その他の OS モード

USB 2.0に対応していない一部のOSでキーボード・マウスをリセットする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にしてください(p.36 参照)。
2. [F1]キーを押してください。

ホットキーセッティングモード一覧

キー	機能
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーをデフォルト([Num Lock][-])と代替([Ctrl][F12])の間で切り替えます。
[T]	ポート切替キーをデフォルト([Scroll Lock] [Scroll Lock])と代替([Ctrl][Ctrl])の間で切り替えます。
[F1]	USB2.0 非対応の OS でキーボード・マウスをリセットします。
[F2]	Mac のキーボードエミュレーションを有効にします。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にし、パススルーキーボードモードを有効にします。
[F4]	現在のホットキー設定をコピーし、テキストエディターにペーストします。
[F5]	USB キーボード・マウスをリセットします。
[F6] [nn] [Enter]	キーボード言語を設定します。 注意: nn には、キーボード言語のコードを表す下記のいずれかの番号を入力します。 英語(アメリカ):33、フランス語:08、日本語:15
[B]	ビープ音を有効/無効にします。
[X] [Enter]	ポート切替キーを有効/無効にします。
[R] [Enter]	ホットキー設定をリセットしてデフォルトに戻します。
<i>upgrade</i> [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。詳細については、p.58「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。
[D]	ビデオダイナミック機能を起動します。このビデオダイナミック機能は、ブート時におけるディスプレイの問題を回避し、ポート切替時に解像度を最適化する、ATEN 独自の技術です。
[N]	キーボードエミュレーションを有効/無効にします。

(表は次のページに続きます)

キー	機能
[M]	マウスエミュレーション機能を有効/無効にします。
[W]	カーソルシフト機能を有効/無効にします。これはディスプレイを 2 台使用している時にのみ利用可能です。詳細については、p.56「カーソルシフト」をご参照ください。

工場出荷時におけるホットキー設定

CM0264 の工場出荷時におけるデフォルトホットキーの設定に関する全リストは、p.69「工場出荷時におけるデフォルトホットキーと設定」をご参照ください。

第5章

GUI 操作

概要

CM0264 は、便利でユーザーフレンドリーな操作ができる、グラフィックユーザーインターフェース(GUI)を搭載しています。GUI では、マウスによるポート切替、PC 間でのファイル転送、簡単モニタリングをはじめ、他にも画期的なデスクトップコントロール機能を提供しています。

CM0264 の GUI の操作は Windows プラットフォームからのみ可能ですが、その他の OS(Sun、Linux、Mac)にも GUI のインターフェースを使って参照したりアクセスしたりすることができます。詳細については p.14「OS」をご参照ください。

CM0264 の GUI は、コンピューターの OS 画面の表示のみに対応していますので、例えば DVD プレーヤーからのビデオコンテンツを GUI で表示することはできません。詳細については p.21「PC 以外のデバイス」をご参照ください。

GUI の有効化

ハードウェアのセットアップが完了して製品に電源が入ると、CM0264 はお使いのコンピューターにおけるファイルシステムで ATEN 外部デバイスとして表示されます。GUI を有効にするには、下記の手順に従って操作してください。

1. お使いのファイルシステムで ATEN デバイスをクリックし、サブメニューからファイル「CubiQ.exe」を探してください。
2. このファイルをコピーしたら、CM0264 に接続して使用するすべてのコンピューターの適当な場所にペーストしてください。
3. CM0264 を使う準備が整ったら、各 PC でファイル「CubiQ.exe」をダブルクリックし、GUI を有効にしてください。

コンソールモニターを 2 台使用する場合は、両方のモニターに接続画面が表示されます。最

初に GUI ツールバーを有効にしたモニターは、このセッションで GUI が選択されているモニターです。

推奨電源投入シーケンス(p.21「デフォルト表示と電源投入シーケンス」参照)に従った場合は、DVI モニターはポート 1 で、HDMI モニターはポート 2 でそれぞれ有効になります。いずれの場合においても、ポートナンバーが画面左上に 3 秒間表示されます(p.55 の図を参照)。

CM0264 のアイコンをクリックしてください。下図のような接続画面が表示されます。



GUI ツールバーを開く場合は、「Connect」ボタンをクリックしてください。クリックすると、下図のようなツールバーが表示されます。



注意: GUI で問題が発生した場合は、KVM リセット(p.27「KVM リセット」参照)を実行するか、お使いのすべてのコンピューターに最新の CM0264 のソフトウェアを再インストールしてください。詳細については、p.エラー! ブックマークが定義されていません。「KVM リセット/再インストール」をご参照ください。

ツールバー

CM0264 のツールバーにある各アイコンに関連した機能は下表のとおりです。

アイコン	機能
	<p>About - 現在のファームウェアのバージョンや著作権など、CM0264 に関する情報を提供します。</p>
	<p>Hotkey List - CM0264 のデフォルトホットキーの設定一覧を提供します。CM0264 ホットキーの一覧については p.43「ホットキーセッティングモード一覧」を、デフォルトホットキー設定の一覧については p.69「工場出荷時におけるデフォルトホットキーと設定」をそれぞれご参照ください。</p>
	<p>List Switch Settings - 製品に接続されたコンピューターの OS のように、CM0264 のポート設定に関する情報を提供します。これは、リスト切替設定ホットキーと同じ機能です。詳細については、p.39「リスト切替設定」をご参照ください。</p>
	<p>File Transfer - CM0264 のファイル管理ユーティリティを有効にします。この機能に関する詳細説明は、p.48「ファイル管理ユーティリティ」をご参照ください。</p>
	<p>Desktop Scaling - 製品に接続されたすべてのコンピューター/デバイスの解像度を同期する場合は、このアイコンをクリックしてください。詳細については p.57 をご参照ください。</p>
	<p>Hide Matrix Windows - マトリックスウィンドウをタスクバーのアイコンに最小化します。元の状態に戻す場合は、タスクバーのアイコンをクリックしてください。CM0264 のマトリックスウィンドウ機能に関する詳細は、p.55「マトリックスウィンドウを使ったポート切替」をご参照ください。</p>
	<p>Toolbar On/Off - CM0264 のツールバーをタスクバーのアイコンに最小化します。ツールバーを参照する場合は、タスクバーアイコンをダブルクリックしてください。</p>

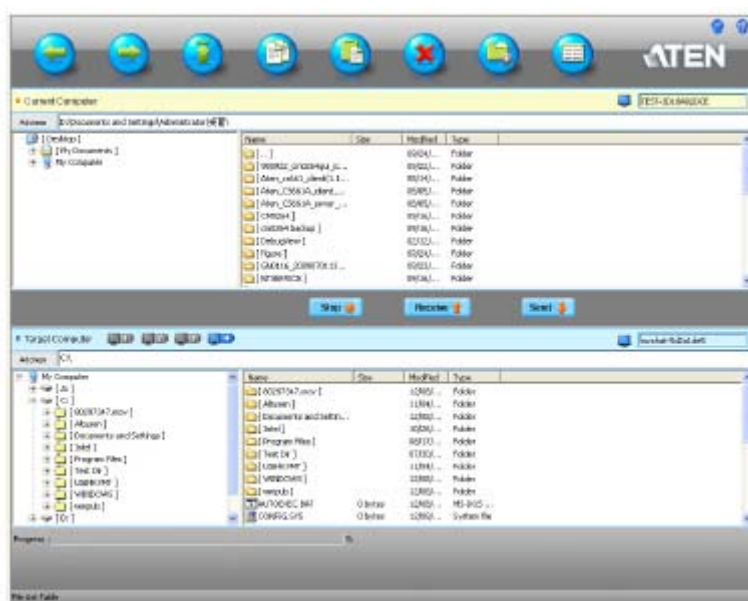
注意: ツールバーはデスクトップ上の任意の場所に動かすことができます。移動させる場合は、ツールバーの「CubiQ™」ロゴをクリックし、目的の場所にドラッグしてください。

ファイル管理ユーティリティー

CM0264 は、コンピューター間で簡単かつスピーディーにファイル転送ができる、ファイル管理ツールを提供します。ファイル転送機能に加え、CM0264 のファイル管理ツールは、接続されたコンピューターのファイルやフォルダーの新規作成・名前変更・削除といったファイルシステムの管理を、使いやすいインターフェースから操作できます。

ファイル転送 GUI

CM0264 のツールバー(p.47「ツールバー」参照)で「File Transfer」アイコンをクリックすると、ユーティリティーのメイン画面が表示されます。



ファイル転送 GUI のメイン画面は、主に 4 つの部分から構成されています。これについては、次のページで詳しく説明します。

ツールバー

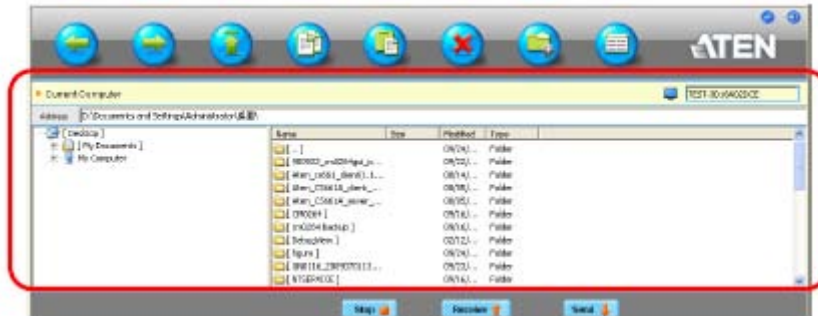
ツールバーには下図に示す通り、上部に一行に並んだ8個の主要機能のアイコンと、2個のナビゲーションアイコンが表示されます。



ツールバー アイコン	名前	機能
	Back	前の画面に戻ります。
	Forward	次の画面に進みます。
	Up	一つ上のレベルのフォルダーを表示します。
	Copy	ファイルを選択し、コピーします。
	Paste	ファイル/フォルダーを選択し、ペーストします。
	Delete	ファイル/フォルダーを選択し、削除します。
	Create	現在アクティブなディレクトリーで新しいフォルダーを作成します。
	Detail	ファイルシステムの表示オプションを、簡易表示(フォルダーのみ表示)と詳細表示(名前、サイズ、修正、日付)の間で交互に切り替えます。
	Minimize	ツールバーを最小化します。
	Exit	ツールバーを終了します。

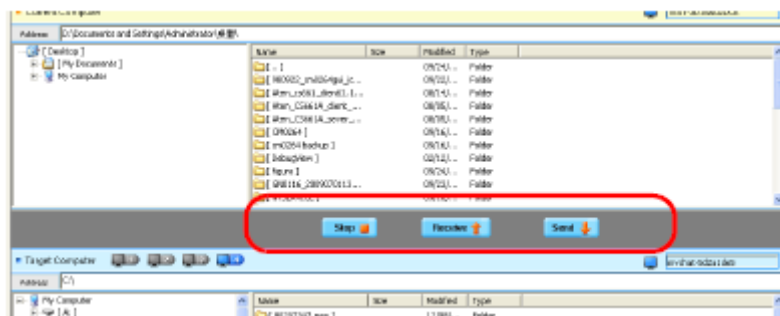
現在のコンピューターセクション

このセクションには、現在 KVM 操作が選択されているコンピューターのファイルシステムが表示されます。



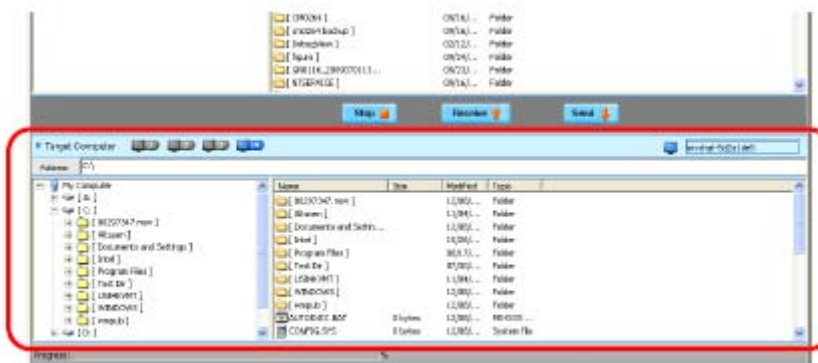
ファイル転送ボタン

このセクションには、「Send」、「Receive」、「Stop」の 3 種類のファイル転送ボタンが表示されます。詳細については p.51「ファイル転送」をご参照ください。



ターゲットコンピューターセクション

このセクションでは、現在ターゲットコンピューターとして選択されているコンピューターのファイルシステムが表示されます。これは、現在選択されていない残り 3 台のコンピューターのいずれかで、ターゲットコンピューターボタン 1~4 で選択されているコンピューターです。



ファイル転送

CM0264 のファイル管理ユーティリティーを使って 4 台の PC 間でファイルを転送する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. グラフィカルユーザーインターフェース(GUI)ツールバーで、ファイル転送アイコン(p.47「ツールバー」参照)をクリックしてユーティリティーを起動してください。
2. ファイル転送 GUI のメイン画面が開きます(GUI 機能に関する詳細は p.48「ファイル転送 GUI」参照)。
3. ファイル転送には下記の 3 種類の方法があります。

ドラッグ&ドロップ

ターゲットコンピューターセクションでターゲットコンピューターを選択したら、目的のフォルダーをマウスカーソルで選択してください。その後、転送するファイルをクリックし、これを目的のフォルダーにドラッグ&ドロップしてください。

送受信

転送対象となるファイルと目的のフォルダーの両方を選択し、ファイル転送ボタン「Send」をクリックして、現在のコンピューターからターゲットコンピューターにファイルを転送してください。もしくは、ファイル転送ボタン「Receive」をクリックして、ターゲットコンピューターから現在のコンピューターにファイルを転送してください。

コピー&ペースト

転送対象となるファイルを選択して、ツールバーから「Copy」アイコンをクリックしてください。カーソルを転送先のフォルダーに動かし、ツールバーにある「Paste」アイコンをクリックしてください。

1. ファイル転送は「Stop」ボタンを使うことでいつでも停止することができます。
2. ファイル転送の進捗状況はプログレスバーで確認することができます。

その他のファイル管理機能

ファイル転送機能に加え、CM0264 のファイル管理ツールには、接続されたコンピューターのファイルやフォルダーの新規作成・名前変更・削除といったファイルシステムの管理機能もあります。詳細については p.47「ツールバー」をご参照ください。

3in1 ビュー デスクトップコントロールとモニタリング

マトリックスウィンドウ

マトリックス KVM スイッチとして、CM0264 は画期的な 3in1 ビュー デスクトップコントロール及びモニタリング機能を使うことで、最大 4 台の PC のビデオ出力を最大 2 台のディスプレイでモニタリングすることができます。CM0264 の GUI が操作可能な場合、残り 3 台までのデスクトップ環境をマトリックスウィンドウに表示することができます。デフォルトの操作設定は、下図のように、最初に電源が入ったコンピューターのビデオ出力が全面に大きく表示され、その他のポートのビデオ出力が画面右端にある小さいマトリックスウィンドウの中に表示されます。



これらのマトリックスウィンドウの位置と外観はカスタマイズ可能で、最小化/最大化させたり、移動させたり、隠したりすることができます。詳細については、後のセクションをご確認ください。

PC 以外のデバイス

CM0264 の 3in1 ビュー機能では、コンピューターの OS 画面のみ表示されます。例えば、DVD プレーヤーのような PC 以外のデバイスを HDMI ポートに接続した場合、GUI 画面のマトリックスウィンドウにはこれが表示されません。このデバイスの表示に切り替える場合は、製品フロントパネルのプッシュボタン(p.23「手動切替」参照)、またはキーボードホットキー(p.28「ポート切替」参照)を使ってください。

マトリクスウィンドウ表示シーケンス

下表は、ポートがすべて表示された場合に、どのポートがどのマトリクスウィンドウに表示されるかを表したものです。

表示位置	ポートナンバー			
フル	1	2	3	4
上部マトリクス	2	1	1	1
中央マトリクス	3	3	2	2
下部マトリクス	4	4	4	3

基本機能

ナビゲーション

CM0264 の 3in1 ビュー機能を使ったマトリックスウィンドウの操作や移動は、下記に示す通り、簡単かつスピーディーに行うことができます。

- ◆ マトリックスウィンドウをフルスクリーン表示する場合は、下記に従って操作してください。
 - a) 表示を拡大したいマトリックスウィンドウのタイトルバー、またはこのウィンドウの中をダブルクリックしてください。
 - b) Windows に標準搭載されている最大化/最小化機能を使ってください。

注意: マトリックスウィンドウの最大化はポート切替機能です。キーボード・マウスの操作はビデオ表示と一緒に切り替わります。詳細については、p.52「3in1 ビュー デスクトップコントロールとモニタリング」をご参照ください。

- ◆ すべてのマトリックスウィンドウを最小化する場合は、GUI のメインツールバーから「Hide Matrix Windows」アイコンをクリックしてください。

注意: 「Hide Matrix Windows」機能を使うと、マトリックスウィンドウをすべて隠します。個々のマトリックスウィンドウを隠す場合は、Windows に標準搭載されている最大化/最小化機能を使ってください。

- ◆ マトリックスウィンドウを移動させる場合は、ウィンドウのツールバーをクリックして、お使いのデスクトップの適当な場所にドラッグしてください。

高度な機能

マトリックスウィンドウを使ったポート切替

CM0264 のマトリックスウィンドウ機能を使って KVM 操作を特定のポートに切り替える場合は、このポートのマトリックスウィンドウを下記のいずれかの方法で最大化してください。

1. 表示マトリックスウィンドウのタイトルバーをダブルクリックする。
2. 表示マトリックスウィンドウの中をダブルクリックする。
3. Windows に標準搭載されている最大化/最小化機能を使う。

上記の方法 1 と 3 は、GUI 内においてソフトウェアベースでポート切替を行います。方法 2 は、完全なポート切替を実行します。完全なポート切替を実行した場合、お使いのコンピューターのプロセッサの速度や RAM のスペックによっては操作が若干遅く感じる場合があるかもしれません。詳細については p.13「ハードウェア」をご参照ください。

マトリックスウィンドウがフルスクリーンに最大化されると、キーボード・マウスの操作もすべてそのポートに切り替わります。マトリックスウィンドウが最大化になっている間はフル KVM 操作が維持されます。詳細については p.53「マトリックスウィンドウ表示シーケンス」をご参照ください。

操作を別のポートに切り替える場合は、対象ポートのマトリックスウィンドウを最大化するか、マトリックスウィンドウが隠れている場合は GUI ツールバーを使って「Hide Matrix Windows」機能を無効にしてポートを選択してください。

参考までに、ポートを異なるコンピューターに切り替えると、ポートナンバーがマトリックスウィンドウの左上に 3 秒間表示されます。



カーソルシフト

CM0264 は、DVI ディスプレイと HDMI ディスプレイを各 1 台使用したデュアルディスプレイ表示が可能です。コンソールでディスプレイが 2 台使用されている時、コンソールで使用しているマウスカーソルは2台のディスプレイ間で行き来させることが可能です。これはポート切替機能であり、マウスカーソルが表示されているディスプレイで KVM 操作が可能です。この機能は、デュアルディスプレイで使用しているときにのみ利用可能です。

カーソルシフト機能を使用する前に、ディスプレイ 2 で参照したい画面が一番上にくるようにマトリックスウィンドウに表示されているポートを切り替えてください。また、カーソルシフト機能が有効になっていることを確認してください(p.42「カーソルシフトによるポート切替」参照)。



カーソルシフト機能の使用中は、上部マトリックスウィンドウのビデオ出力は上図のように 2 台のディスプレイ(およびマトリックスウィンドウ)間でシフトします。また、このとき、以下のような動作が見られます。

- ◆ カーソルがディスプレイ 1(DVI、マトリックスウィンドウあり)から、ディスプレイ 2(HDMI)にシフトした場合:上部マトリックスウィンドウがディスプレイ 2 に表示され、KVM 操作がディスプレイ 2 に切り替わります。上部・中央・下部の各マトリックスウィンドウのビデオ出力に関する詳細は、p.55「マトリックスウィンドウを使ったポート切替」をご参照ください。
- ◆ カーソルがディスプレイ 2(HDMI)からディスプレイ 1(DVI)にシフトした場合:KVM 操作はディスプレイ 1 に戻ります。

CnP を使った RTF 転送

リッチテキスト形式(RTF)は、クロスプラットフォームの文書フォーマットとして Microsoft によって開発された文書ファイルフォーマットです。CM0264 の CnP 機能を使うことで、マトリックスウィンドウ間で RTF コンテンツのコピー&ペーストが可能です。[Ctrl] + [C]ホットキーで RFT コンテンツをコピーしてください。その後、[Alt] + [V]ホットキーを押してください。そうしたら、ターゲットコンピューターを選択し、ペースト対象となる RTF コンテンツの場所を検索し、[Ctrl] + [V]ホットキーを使ってください。

デスクトップのリサイズ

CM0264 の画期的なデスクトップリサイズ機能は、フルスクリーン表示、または比率でリサイズ可能なマトリックスウィンドウのオプションが選択できます。デフォルトでは、マトリックスウィンドウは、コンピューター画面の元の解像度を保持し、1:1 の縦横比でフルスクリーン表示されます。マトリックスウィンドウの解像度と、現在のフルスクリーン表示のコンピューターの画面の解像度を一致させるには、GUIメイン画面のツールバーにある「Desktop Scaling」アイコン (p.47「ツールバー」参照) をクリックしてください。

実行前

デスクトップのリサイズを実行する前は、マトリックスウィンドウは、下図のように元の画面解像度の比率を保持して表示されます。



実行後

デスクトップのリサイズを実行すると、マトリックスウィンドウは同じ比率で表示されます。



第6章

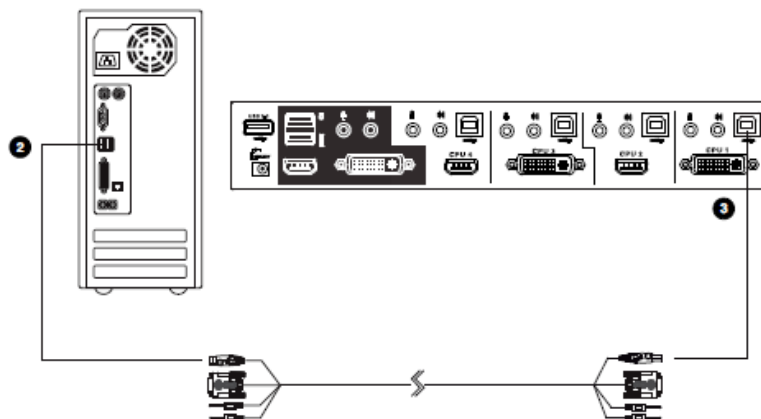
ファームウェアアップグレードユーティリティ

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティは、スムーズかつ自動化された手順で CM0264 のファームウェアをアップグレードすることができます。新しいファームウェアパッケージがリリースされると弊社 Web サイトに公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 Web サイトをご覧ください。<http://www.atenjapan.jp/download/download.php>

事前準備

1. CM0264 に接続されているコンピューターを取り外してください。弊社サポートサイトにアクセスし、適用対象となる CM0264 のアプリケーション/ファームウェアパッケージ(通常は最新版)を選択して、これをコンピューターにダウンロードしてください。
2. KVM ケーブルの USB タイプ A コネクタを、ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードしたコンピューターの USB ハブポートに接続してください。

注意: 下図は、USB DVI タイプの KVM ケーブルを使用した場合の例です。USB HDMI タイプの KVM ケーブルも使用できます。



3. KVM ケーブルの反対側の USB タイプ B コネクタを、KVM セクションにあるポート 1 の USB タイプ A ポートに接続してください。
4. ファームウェアアップグレードモード(p.40「ファームウェアアップグレードモード」参照)を起動してください。KVM LEDランプがすべてオレンジ色に点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

アップグレードの開始

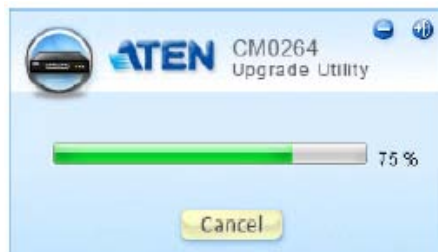
1. あらかじめダウンロードしておいたアプリケーション/ファームウェアアップグレードパッケージファイルを実行し、画面内の指示に従ってユーザー情報を入力してください。その後、下図の画面が表示されるまで、「Complete」セットアップを選択し、指示に従いながら USBXpress ドライバーアプリケーションを (p.60 の注意書き参照)インストールしてください。



「Start」ボタンをクリックして、ユーティリティを実行してください。

注意: 「Device Not Found」のエラーメッセージが表示されたら、USB ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

2. 次に表示される画面で「OK」ボタンをクリックし、アップグレードを確認してください。プログレスバーのある新しいウィンドウが表示されます(アップグレードをキャンセルする場合は「Cancel」ボタンをクリックしてください)。



注意: ユーティリティの実行中には USB ケーブルを接続しないでください。

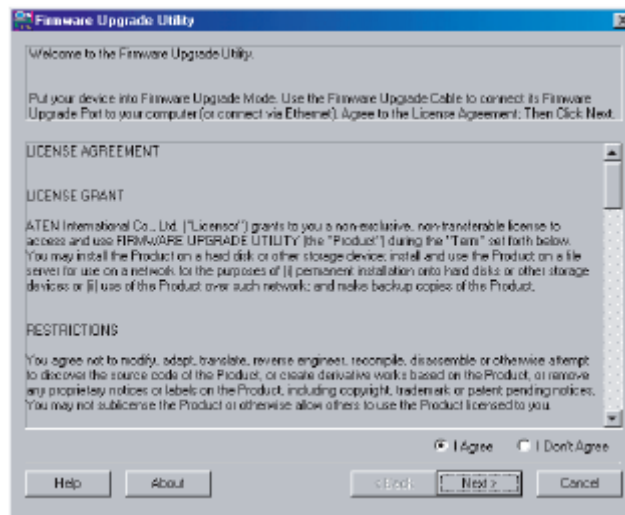
3. アプリケーションのアップグレードに成功すると、下図のようなウィンドウが表示されます。



4. 「OK」ボタンをクリックして操作を続けてください。

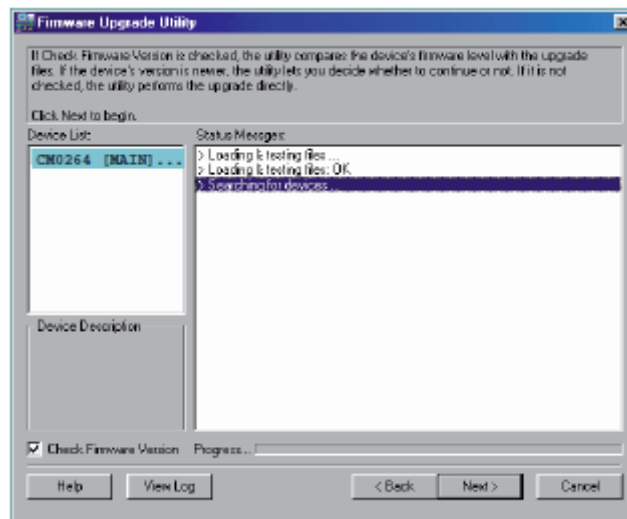
注意: この操作で CM0264 の GUI ウィンドウが表示されます。ここでは「Connect」ボタンをクリックする必要はありません。このウィンドウを最小化してください。

下図のようなファームウェアアップグレードユーティリティーのウェルカム画面が表示されます。



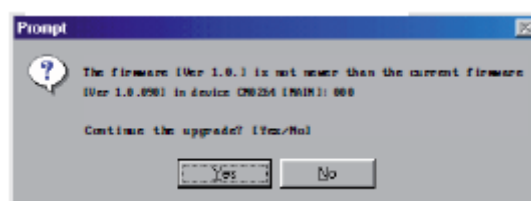
5. 使用許諾契約をご確認の上、同意される場合は「I Agree」ラジオボタンを有効にし、「Next」ボタンをクリックしてください。

6. ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。ユーティリティはお使いのシステムを検査し、このパッケージでアップグレードできるデバイスをすべて「Device List」パネルに一覧で表示します。



7. リストでデバイスを選択すると、このデバイスに関する説明が「Device Description」パネルに表示されます。デバイスを選択したら、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行してください。

「Check Firmware Version」の項目が有効になっていると、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルの間でバージョンの比較を行います。デバイスのバージョンの方がアップグレードパッケージよりも新しい場合、下図のように、操作を続行するか否かの選択を促すダイアログが表示されます。

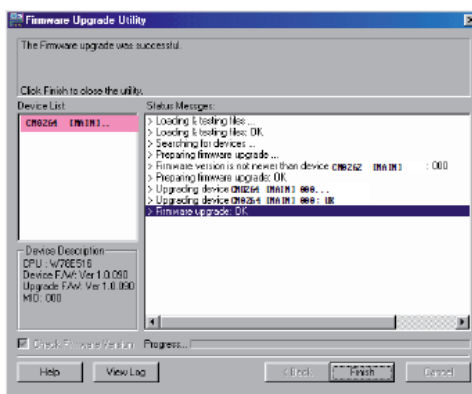


「Check Firmware Version」の項目が有効になっていない場合、ユーティリティはバージョンの比較を行うことなく、アップグレードファイルをインストールします。

アップグレードの処理に関するステータスメッセージは「Status Message」パネルで、また、進捗状況はプログレスバーでそれぞれ確認することができます。

アップグレード成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面で、処理が成功したというメッセージが表示されます。



ファームウェアアップグレードユーティリティを終了する場合は、「Finish」ボタンをクリックしてください。

処理に成功すると、CM0264 はファームウェアアップグレードモードを終了し、本体をリセットします。

注意: USBXpress アプリケーションドライバを削除する場合は、[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]メニューを使って操作してください。

アップグレード失敗

「Upgrade Succeeded」画面が表示されない場合、アップグレードが正常に終了しなかったことを意味します。このような場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. 電源ジャックから電源アダプターを抜いて CM0264 の電源を OFF にしてください。
2. フロントパネルのモード選択ボタン(p.15「製品各部名称」参照)を長押ししながら CM0264 に電源を入れて、ファームウェアアップグレードモードを起動してください。KVM LED ランプが一斉にオレンジ色に点滅します。
3. ファームウェアアップグレードの操作をもう一度最初から行ってください。

付録

製品仕様

機能		CM0264
コンピューター接続数		4
コンソール接続数		1
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード	USB
	マウス	
コンソール側 対応インターフェース	キーボード	USB
	マウス	
ポート選択方法		ホットキー、プッシュボタン、GUI
コンピューター側 コネクタ	キーボード/ マウス	USB タイプ B メス×4
	モニター	DVI-I メス×2 HDMI タイプ A メス×2
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×4
	マイク	ミニオーディオジャックメス×4
コンソール側コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1
	マウス	USB タイプ A メス×1
	モニター1	DVI-I メス×1
	モニター2	HDMI タイプ A メス×1
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×2
	マイク	ミニオーディオジャックメス×2
スイッチ	ポート選択	プッシュボタン×5
USB2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2
電源ジャック		DC 電源ジャック×1
LED	KVM	オレンジ/グリーン×5 (モニター1:オレンジ、モニター2:グリーン)
	オーディオ	グリーン×5
	USB	グリーン×5

(表は次のページに続きます)

機能		CM0264
キーボード・マウスエミュレーション		USB
スキャンインターバル		1～99 秒(ユーザー設定) 5 秒(デフォルト) 0 秒(無効)
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100V～240V 50～60Hz 出力:DC5.3V 2.4A
消費電力		DC 5.3V、4.24W
VGA 解像度		1080p(HDMI)/1,920×1,200(DVI)
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース材料		メタル
重量		860g
サイズ (W×D×H)		260×75×45mm
同梱品		DVI-D KVM ケーブル(2L-7D02U)×2 HDMI KVM ケーブル(2L-7D02UH)×2 電源アダプタ×1 USB-PS/2 変換ケーブル×1 フットパッド(4pcs)×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1
対応 KVM ケーブル		《DVI-D KVM ケーブル》 2L-7D02U(1.8m) 《HDMI KVM ケーブル》 2L-7D02UH(1.8m) *注意:標準で DVI-D ケーブル 2L-7D02U(1.8m)×2、HDMI ケーブル 2L-7D02UH(1.8m)×2 が付属しています。

トラブルシューティング

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、ケーブルが KVM スイッチおよびコンピューターの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

また、これらの問題は、ファームウェアのアップグレードの適用によって解決することがあります。現在お使いのバージョンが最新でない場合は、最新版のファームウェアを適用することを推奨します。詳細については p.58 の「ファームウェアアップグレードユーティリティー」をご参照ください。

現象	考えられる原因	対処法
マウスやキーボードが反応しない。	間違った方法でマウスやキーボードのリセットを行った。	コンソールポートからコネクタを外し、ポートに接続し直してください。
	KVM スイッチのリセットが必要である。	製品に接続されているすべてのデバイスの電源を OFF にし(p.6「安全にお使い頂くために」参照)、製品の電源を OFF にした後、5 秒程度待機して電源を入れ直してください。
USB デバイスが反応しない。	USB ポートのリセットが必要である。	製品リアパネルの USB ポートからデバイスの USB コネクタを外して、接続し直してください。
	PC または OS が USB2.0 に対応していない。	CM0264 に搭載されているのは USB2.0 のハブですので、USB2.0 非対応の PC や OS はサポートされません。 USB2.0 非対応の OS をお使いの場合は、[F1]ホットキー機能を使って、キーボードとマウスをリセットすることができます。詳細は p.42「その他の OS モード」をご参照ください。
デバイスが認識されない(Windows)。	Windows のタイミングの問題	コンピューターの USB ポートから KVM ケーブルを取り外し、Windows の[システム設定]で「不明なデバイス」を削除してから KVM ケーブルを接続し直してください。この操作によって、Windows 側でデバイスが認識されるようになります。

(表は次のページに続きます)








現象	考えられる原因	対処法
[Scroll Lock]キーを2回押してもポートが切り替えられない。	キーボードが[Scroll Lock]キーによる起動に対応していない。	ホットキーセッティングモードの代替起動キーに切り替えてください。詳細については、p.37「ホットキーセッティングモードの代替起動キー」をご参照ください。
KVMケーブルをホットプラグすると、モニターに何も表示されなくなる。	一部の HDMI/DVI グラフィックカードが KVM ケーブルのホットプラグに対応していない。	製品に接続されているすべてのデバイスの電源を OFF にし(p.6「安全にお使い頂くために」参照)、CM0264 の電源を OFF にしてください。KVM ケーブルがすべて正しく接続されていることを確認したら、CM0264 に電源を入れ直し、接続されているコンピューターにも電源を入れてください。
HDMIコンピューターに切り替えると、モニターに何も表示されなくなる。	グラフィックカードが DVI-I(デジタル/アナログ)である。	グラフィックカードの設定をデジタルのみに設定してください。 グラフィックカードを DVI-D または HDMI のものに交換してください。
ポート切替時に、モニターに何も表示されなくなる。	モニターが新しい、またはセットアップ後に初めて使用する。	ポートを再度切り替えたら、PC の EDID 情報がモニターに転送されるまで数秒間お待ちください。
	ポートの切替時に PC の EDID 情報がモニターに転送されない。	[d]ホットキーを使って再度ビデオダイナシク機能を起動するか、別の PC に切り替えるかして、CM0264 に再接続してください。詳細については p.43「ホットキーセッティングモード一覧」をご参照ください。
USB2.0デバイスポートに接続されているゲーミングキーボードが正しく動作しない。	KVMホットキーがサポートされていない。	キーボードエミュレーションホットキー[N]を使って、この機能をもう一度 OFF→ON に切り替えてください。詳細については、p.42「マウスエミュレーション制御」をご参照ください。キーボードの特殊キーを使用する場合は、必ずキーボードエミュレーション機能を有効にする必要があります。
CubiQソフトウェアが見つからない。	USB 接続のリセットが必要である。	USB コネクタを取り外し、再接続してください。

(表は次のページに続きます)

現象	考えられる原因	対処法
GUI接続画面の動作が遅くなり接続できない。	CM0264 のリセットが必要である。	KVM リセットを実行するか、お使いのすべてのコンピューターに CM0264 のソフトウェアの最新版を再インストールしてください(p.エラー! ブックマークが定義されていません。「KVM リセット/再インストール」参照)。

Mac キーボードエミュレーション

キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換キーボードから Mac システムのキーボードのファンクションキーを使用することができます。詳細は下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合は、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

工場出荷時におけるデフォルトホットキーと設定

設定	ホットキー	デフォルト
ポート切替 (デフォルト/代替)	[T]	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
ホットキーセッティングモードの起動	[H]	[Number Lock][-]
オートスキャンインターバル	[Scroll Lock] [Scroll Lock][A] [Enter]	5 秒
キーボード操作プラットフォーム	[F10]	PC 互換
マウスエミュレーション	[M]	有効
キーボードエミュレーション	[N]	有効
カーソルシフト機能	[W]	無効
ポート切替キー(ON/OFF)	[X][Enter]	有効
ビープ音	[B]	有効
キーボード言語	[F6][nn][Enter] 注意:nn は言語 番号です。	英語